

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、芳川圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和2年7月30日（木）9時30分から11時00分まで
参加者	委員：13人 関係機関：11人
場所	南区役所 大会議室
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 浜松市社会福祉協議会浜松地区センター長</p> <p>3. 役員について 会長・副会長を選出・承認された。</p> <p>4. 会長挨拶</p> <p>5. 自己紹介</p> <p>6. 協議内容</p> <p>① 令和元年度 年間報告について 生活支援コーディネーターより昨年度協議体会議について報告。</p> <p>②令和2年度 年間計画について ・年間4回開催する予定。 ※コロナウイルスの感染拡大の状況を見ながら、状況に応じて対応していく。</p> <p>③新型コロナウイルスによる自粛期間中の活動・生活について 〈自粛期間中の地域の活動について〉</p> <p>○地区社協 今年度の事業ができるのかわからない。 家事支援…依頼者もボランティアも活動できないことにストレスを感じている。 サロン…今までの形でやってよいのか不安。 子育て広場…梅雨は毎年施設内で開催するが三密が心配。保育所が閉まったことで参加者が増加。 通学合宿…コロナ禍のため、場所・風呂・食事等が課題となり中止が決まった。</p>

○自治会

会合…敬老会や救助者名簿の件など会合が必要なことが多く、密を避けながら開催。
協働センターまつり…開催するかどうかわ迷う。展示会はやるがその他のイベントは中止。バザーはやらない方向。サークル等の発表の場が生きがいになっている人もいる。何らかの形で発表できる場をつくりたい。

ふれあい収穫祭…10月開催を検討している。展示会と食事をパックに詰めて配布する方向で検討中。

成人式…実施の方向。

回覧板…回覧を回すのはやめ、各家にポスティングをしている。

防災訓練…縮小して行う。

草取り…注意しながら実施。強制はせず、ボランティアでやってもらう形。

活動全般…どうしたら実施できるのかを考え工夫してやりたいが、実施について慎重な考えの人もいるため難しい。地域活動の実施を考える際には、①実施、②縮小して実施、③やめる の3つに分けて考えている。活動への参加は任意とし、心配な人は無理して出席しなくてもよいように配慮し、開催していくのがよいのではないかな。

○地区民児協

定例会…5月のみ中止にした地区と5月～7月を中止にした地区がある。

研修会…5月は中止。10月については検討中。実施の場合は、バスを小型から大型に変えるなど見直す。

訪問…自粛しており、電話・ポスティングで対応している。

相談…自粛期間中の相談は少なかった。視覚障がいをもつ方の特別定額給付金の申請をサポートした。

○シニアクラブ

バスツアー、ウォーキング、ゴルフ等の活動を中止している地区とロコモ・輪投げ・ゴルフ等の活動は再開したが今後の対応について検討している地区がある。

体操・食事会・交流がなくなったことで、昼間に家に1人きりになり心のダメージを受けている人もいる。

○地域包括支援センター芳川

職員の感染対策、器材の消毒などを徹底している。

相談…緊急事態宣言中は面談を控える人が多かったのか相談が少なかった。

5～6月は心身ともにストレスが溜まっている人が多く、虐待の相談が増加。

訪問…ロコモのチラシをもって一人暮らしの高齢者宅を訪問。

イベント…見直し。

特養…面会中止。入所についても状況によって対応を検討する。

ヘルパー・事業所…他のサービスへの切り替えなども検討しながら対応。

○高齢者福祉課

協働センター…緊急事態宣言中は休館。現在は通常通り開館。

ロコモ…緊急事態宣言中は自粛を求めたが、現在は自粛要請を出す予定はない。

元気はつらつ教室…高齢者の健康を維持するために継続。

名古屋市は独自にデイサービスの休業要請をしたが、その代替サービスを求められている。浜松市では保健所や医大と連携して介護施設への対応を進めている。

○南区長寿保険課

区役所窓口…給付金や国保減免の申請などで区役所は来庁者が増えている。

アクリル板を設置し感染予防に努めている。

ふれあい交流センター…6月から開館した。ふれあい交流センターになって母子の利用が可能になったがコロナ禍で周知が進まない状況。

○コミュニティソーシャルワーカー

特例貸付の相談がかなり増えている。元々生活に苦しさを抱えていた人たちが沢山いるのだと感じる。子ども達もストレスを感じているという話もきくので、地域の支えが必要だと感じる。

〈自粛期間中のご自身の生活について〉

健康・ストレスについて

〈感じた問題〉

- ・外に出なくなったことで物忘れが始まっている人がいる。
- ・外出できずストレスが解消できない（特に高齢者の所に行けない）。
- ・今までは孫も自分も外に出る機会があったが、今はずっと家の中に一緒にいるので孫の世話の疲れもある。

- ・コロナで精神的にストレスを抱えている人も多い。居場所づくりが必要だと感じる。
- ・孤独を感じ、人との付き合いが大事だなと思った。

〈工夫してみたこと〉

- ・YouTubeで体操のストレッチやヨガの動画を観ながらやってみた。
- ・自分は地域の会議に出ていたが、妻は家の外に出られずストレスを抱えていたため、一緒に神社へ散歩に出かけた。
- ・SNSの通話を通して知人とつながった。

〈感想〉

- ・日頃沢山ある地域の行事が中止になったため、体の負担は減った。
- ・長雨の影響もあり気持ち的につらかった。

趣味について

- ・飲みに行けず、コミュニケーションがとれない。
- ・家で本を読んで過ごした。
- ・趣味の個人レッスンなどは休みになった。

生活習慣について

- ・手洗い・うがいが習慣化した。
- ・三密を避ければ普通に生活してよいのではないか。
- ・スーパーへ買い物に行くことが毎日の気分転換になっていた。
- ・通販の利用が増えた。

周囲の状況について

- ・病院はすいており待ち時間が全然なかった。
- ・花火が中止になった。

〈集まらずに地域でつながる工夫について〉

- ・生活支援コーディネーターよりコロナ禍で他市町が工夫している活動について紹介

〈ステイホームのなかで健康に過ごすポイント〉

- ・地域包括支援センター芳川よりフレイル対策と口腔ケアについて講話。
歯がなくなってしまった人は健康な歯を持っている人より認知症のリスクが20倍。

	<p>夜に寝る前の歯磨きと朝食を食べる前の歯磨き（うがいで可）が重要。 正しい歯磨きの仕方についても実演。</p> <p>7. 次回開催予定 9月25日（金） 9：30～11：00 五島協働センター1階 ホール</p> <p>8. 連絡事項 なし</p> <p>9. 閉会 副会長よりまとめの言葉</p>
<p>今後の見通し等</p>	<p>今回まで地域の活動・状況の情報共有を主に行ってきた。今後はテーマを絞り、具体的に地域課題を検討していく。</p>